



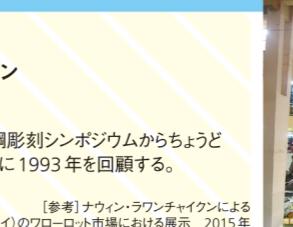
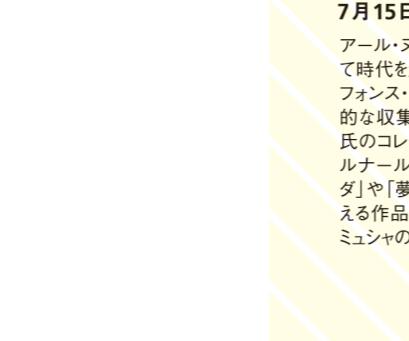
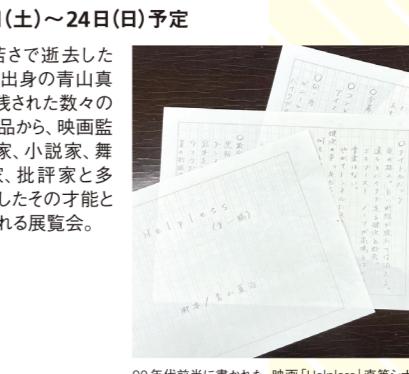
北九州市立美術館
Kitakyushu Municipal Museum of Art



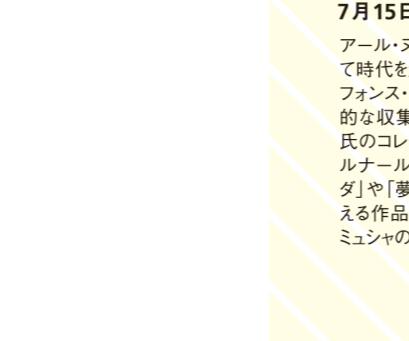
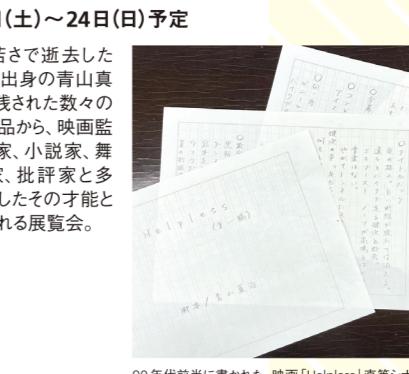
北九州市立美術館分館
KITAKYUSHU MUNICIPAL MUSEUM OF ART, RIVERWALK GALLERY

成長していく美術館
潤いと心の豊かさを創出し、
市民の生活に
地域とともに

本館

| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 2024.1 | 2 | 3 |
|---|--|---|--|--|--|---|---|--|--|---|---|
| コレクション展示室 コレクション展Ⅲ 特集 浮世絵に見る江戸の名所(後期) 3月18日(土)～5月7日(日) | コレクション展Ⅰ 特集 具体 白髮一雄 —尼崎市コレクション 5月20日(土)～8月13日(日) 白髮一雄の初期作品からアクション・ペインティングまで、出身地である兵庫県尼崎市の所蔵品を特別出品。また当館所蔵の具体美術の作品も併せて展示する。 |  白髮一雄 (大富星撰天體) 1963年 尼崎市蔵 | コレクション展Ⅱ 特集 Re: 1993 ゲスト展示: guest room 008 ナウイン・ラウンチャイケン 8月26日(土)～12月17日(日) フランク・ステラの「八幡ワークス」が制作された第2回国際鉄彫刻シンポジウムからちょうど30年。鉄鋼彫刻シンポジウムに関連した作品、作家たちを中心して1993年を回顧する。 |  西宮佑次 The Document: Frank Stella and YAWATA WORKS, Kitakyushu 1993 / 2013年 当館蔵 | コレクション展Ⅲ 特集 磯崎新 「還元」シリーズ 1月4日(木)～5月6日(月・祝) 新収集した磯崎新の「還元」シリーズをはじめ、開化絵に描かれた擬洋風建築など、建築をキーワードにコレクションを紹介する。 |  [参考] ナウイン・ラウンチャイケンによる チェンマイ(タイ)のワロット市場における展示 2015年 | | | | | |
| 企画展示室 スイス・プチ・パレ美術館展 ルノワール、ユトリロから藤田嗣治まで 4月22日(土)～6月18日(日) スイス・ジュネーブのプチ・パレ美術館が所蔵する珠玉のコレクションを一堂に展覧。印象派をはじめ、新印象派、ナビ派、フォーヴィスム、キュビズム、エコール・ド・パリに至るまでフランス近代絵画の潮流をたどる。 |  オーギュスト・ルノワール 読書アリス・ヴァリエール＝メルツバッハの肖像 1913年 スイス・プチ・パレ美術館展覧 ASSOCIATION DES AMIS DU PETIT PALAIS, GENEVE | 芳幾・芳年 —国芳門下の大ライバル 7月8日(土)～8月27日(日) 幕末を代表する浮世絵師であり、国芳門下の良きライバルとして人気を二分した、芳幾と芳年。浮世絵衰退の時代にあらがうべく、奮闘する絵師たちの全貌を、貴重な個人コレクションを中心に振り返る。 |  落合芳幾 横浜英吉利西商館華榮図 1871年 浅井コレクション | 石岡瑛子 ト デザイン 9月9日(土)～11月12日(日) 広告、舞台、映画などジャンルを超えて世界に羽ばたき、いまなお不滅の輝きを放つデザイナー・石岡瑛子。資生堂、PARCOの代表作ほか主に前半期の仕事を一挙公開し、創造への情熱の源となった「J(私)に迫る。 |  [参考] 石岡瑛子 ト デザイン 1974年 | 第78回県展 11月22日(水)～26日(日) 日本画・洋画・彫刻・書・写真・工芸・デザインの7部門を展示。 |  NEW MUSIC MEDIA <New Music Media> 1974年 | 第57回 北九書の祭典 11月30日(木)～12月3日(日) |  [参考] 磯崎新 北九州市立美術館 1974年 | | |
| Schedule 展覧会スケジュール | 面構 片岡球子展 たちむかう絵画 4月8日(土)～5月21日(日) 歴史上の人物たちの顔貌を、鮮烈な色彩と大胆な造形で描き出した「面構(つらがまえ)」シリーズ。片岡が38年にわたり取り組み続けたライフルワークに焦点を当てる初の展覧会。 |  片岡球子(面構 足利尊氏) 1966年 神奈川県立近代美術館蔵 | 毎日新聞社共催事業 アルフォンス・ミュシャ展 7月15日(土)～8月27日(日) アル・ヌーヴォーを代表する画家として時代を超えて愛され続けているアルフォンス・ミュシャ。ミュシャ作品の世界的な収集家として知られる尾形寿行氏のコレクションから、大女優サラ・ベルナルをモデルに描いた「ジスマンダ」や「夢想」「四季」など500点を超える作品により、その優美で華やかなミュシャの全容に迫る。 |  アルフォンス・ミュシャ (夢想 シャンノワ) 1897年 OGATAコレクション | 没後50年 松野一夫展 9月16日(土)～11月12日(日) 『新青年』の画家として知られる小倉出身の松野一夫。翻訳小説や探偵小説の挿絵、児童雑誌や少女雑誌の表紙絵や挿絵、書籍の装丁、新聞小説の挿絵、晩年の水墨画など、初期から晩年までの幅広い画業を紹介する。 |  松野一夫(「黒死病殺人事件」挿絵原画) 1934年 世田谷文庫蔵 | 青山真治クロニクルズ(仮) 12月2日(土)～24日(日)予定 57歳の若さで逝去了した北九州市出身の青山真治監督。残された数々の資料や遺品から、映画監督、音楽家、小説家、舞台演出家、批評家と多方に活躍したその才能と熱量に触れる展覧会。 |  90年代前半に書かれた、映画「Helpless」直筆シナリオ(第1稿)。のちに映画化されたものとは内容が大幅に異なる。 | 西日本工業大学 デザイン学部 卒業制作優秀作品展 3月2日(土)～10日(日) |  | |

分館

| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 2024.1 | 2 | 3 |
|----------------------|--|--|--|--|--|---|---|--|---|---|---|
| リバーウォーク北九州 5F | 面構 片岡球子展 たちむかう絵画 4月8日(土)～5月21日(日) 歴史上の人物たちの顔貌を、鮮烈な色彩と大胆な造形で描き出した「面構(つらがまえ)」シリーズ。片岡が38年にわたり取り組み続けたライフルワークに焦点を当てる初の展覧会。 |  片岡球子(面構 足利尊氏) 1966年 神奈川県立近代美術館蔵 | 毎日新聞社共催事業 アルフォンス・ミュシャ展 7月15日(土)～8月27日(日) アル・ヌーヴォーを代表する画家として時代を超えて愛され続けているアルフォンス・ミュシャ。ミュシャ作品の世界的な収集家として知られる尾形寿行氏のコレクションから、大女優サラ・ベルナルをモデルに描いた「ジスマンダ」や「夢想」「四季」など500点を超える作品により、その優美で華やかなミュシャの全容に迫る。 |  アルフォンス・ミュシャ (夢想 シャンノワ) 1897年 OGATAコレクション | 没後50年 松野一夫展 9月16日(土)～11月12日(日) 『新青年』の画家として知られる小倉出身の松野一夫。翻訳小説や探偵小説の挿絵、児童雑誌や少女雑誌の表紙絵や挿絵、書籍の装丁、新聞小説の挿絵、晩年の水墨画など、初期から晩年までの幅広い画業を紹介する。 |  松野一夫(「黒死病殺人事件」挿絵原画) 1934年 世田谷文庫蔵 | 青山真治クロニクルズ(仮) 12月2日(土)～24日(日)予定 57歳の若さで逝去了した北九州市出身の青山真治監督。残された数々の資料や遺品から、映画監督、音楽家、小説家、舞台演出家、批評家と多方に活躍したその才能と熱量に触れる展覧会。 |  90年代前半に書かれた、映画「Helpless」直筆シナリオ(第1稿)。のちに映画化されたものとは内容が大幅に異なる。 | 西日本工業大学 デザイン学部 卒業制作優秀作品展 3月2日(土)～10日(日) |  | |